

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	02	個性ある地域文化づくり
施策	01	地域文化活動の活性化

**目的**

区民が、自分が住み暮らすまちやまちの歴史・文化に誇りと愛着を持ち、まちづくり等に関わっていく様々な行動の中から、まちの文化が生まれ、育まれていきます。  
区内の、歴史・文化資源を再発見し、広く情報発信をする施策を推進することで、懐が深く、活力に満ちた、文化の薫るまちを実現します。

**対象・手段**

区民が、低廉かつ気軽に文化・芸術が体験できる機会を提供します。  
区民に、身近な歴史・文化資源を発掘し、情報を提供してもらい、データベース化して、情報の共有化を図ります。  
文化観光ルートを整備して、観光情報を積極的に発信し、来街者を増やし、地域の活性化を図ります。  
区内の自主文化活動団体の育成を推進します。  
新宿文化センターの修繕を行い、区内の文化・芸術活動の核として引き続き活用します。

**施策の方向**

文化・芸術を体験できる機会の多様化を図り、区民の文化・芸術に対する関心を更に高めていきます。  
提供した情報から新たな歴史・文化資源が発掘されるように、文化・歴史資源の情報提供を強化していきます。  
新宿区全体で文化・観光を発信するための行政と関係機関の協働の推進体制を整備します。

**基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況**

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
登録文化団体数(団体)	(平成10年度) 48団体 現状値(平成14年度) 36団体	(平成19年度) 40団体	(平成19年度) 37団体	目標を92.5%達成しました。

指標名の定義:文化センターに登録している文化団体数

**成果指標**

指標名	定義	目標水準
文化体験プログラムの参加団体数	文化体験プログラムの各プログラムを行った団体の数	(平成19年度)に (10団体)の水準達成
観光マップ利用者数	観光マップ(日本語版)を利用して区内を回遊する来街者の人数(年間)	(平成19年度)に (35,000人)の水準達成
新宿の観光情報の視聴者数	観光モバイルサイトへのアクセス件数(年間)	(平成19年度)に (36,000件)の水準達成

**施策の達成状況**

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
施策成果指標	目標値1	団体	10.00	10.00	10.00	
	実績1	団体	10.00	9.00	13.00	
	目標達成率1 = /	%	100.00	90.00	130.00	
	目標値2	人		30,000.00	35,000.00	
	実績2	人		32,015.00	47,780.00	
	目標達成率2 = /	%		106.72	136.51	
	目標値3	件			36,000.00	
	実績3	件			56,615.00	
	目標達成率3 = /	%			157.26	

**主な取組み**

13種の文化体験プログラムを実施し、気軽に文化芸術を体験できる機会を提供しました。  
 対象を歴史・文化資源等から地域のお宝へと拡げて地域文化の発掘に取り組むとともに、平成19年度は国民的文豪・夏目漱石の生誕140年に当たるため、これを記念する多彩な事業を関連各課との連携、地域団体との協働により展開しました。  
 観光パンフレットの作成、観光案内標識の設置、観光モバイルサイトの運営により、広く文化観光情報を発信しました。  
 文化・観光施策を総合的に推進するため、観光施策推進協働委員会を設置し、文化観光関連団体と、文化・観光施策の推進体制についての意見交換や調査・検討を行いました。  
 新宿文化センターの大規模改修工事に当たり、接客設備の向上の工事をあわせて実施し、施設の魅力の向上を図りました。

**課題**

この施策の推進にあたっては、「イベントに際しより多くの参加者を得たい」、「文化団体の登録制度」や「文化センターをより多くの方々に活用してもらいたい」、「区民が発掘した文化・歴史資源を広く区内外に知ってもらいたい」等、いずれの場合でも、幅広く効果的な情報発信を行なっていくことが欠かせません。  
 そのため、これまででも広報紙、ポスター、チラシ、ホームページ、モバイルサイト等様々な手法を凝らして情報発信に努めてきましたが、各事業の特質を捉えつつ、より極め細やかな周知を行うほか、関係各課と連携してマスメディアに積極的に働きかける等、更なる情報発信の取組みを強化していくことが施策を構成する各事業に共通する課題です。  
 地域文化活動を活性化するためには、その主体となる区民の文化活動への参加を促進していく必要があります。より多くの区民が参加できるプログラムづくり等、参加の機会を拡大していく必要があります。

**評価**

総 合 評 価	
<p>総合評価は、施策の目的や評価等について概ね計画どおりの成果が得られたと捉え「B」としました。</p> <p><b>サービスの負担と担い手</b>          観光マップやまち歩きガイドなどのパンフレット、小冊子等は無料配布し、また、参加料はイベントは無料、文化体験プログラムは保険料等相当にするなど参加者の負担を抑えました。これらは、幅広い情報発信、文化・芸術活動のきっかけ作りなどの点から、施策目的達成のため行政が担う負担として、適切であると言えます。</p> <p><b>適切な目標設定</b>          区内の文化・芸術活動状況や、文化・歴史資源の幅広い情報発信等の観点から、施策の成果を測る指標の設定は、適切であると言えます。</p> <p><b>効果的・効率的な視点</b>          この施策を構成する事業の多くは、地域文化の活性化を図ることを目的として、区民や団体の自主的な文化・芸術活動を促すための必要な機会や活動場所の提供等の側面からの活動支援を行政が行うものです。また、区民や団体では効果的な実施が難しい幅広い情報発信を行政が担っています。このような事業の実施方法は、効果的・効率的なものであると言えます。また、新宿文化センターの整備も休館期間を極力短縮して効率的に行うことができたと評価しています。</p> <p><b>目的の達成度</b>          施策の成果を図る指標はそれぞれ達成することができました。また、文化体験プログラムや漱石関連イベントではアンケートを実施し、満足の意を示す回答は、いずれも90%を超える等、区民満足度の高い施策を実施できました。文化・芸術活動についての参加のきっかけづくり、活動の支援、活動場所の提供、発表の場の提供、文化・歴史資源の幅広い発信等、地域文化の活性化に必要な環境作りができたと言えます。</p>	B

**今後の取組み・改革の方針**

地域文化の振興には、区民が地域への誇りや愛着を持つことや、地域における文化・芸術活動を継続して行なうことが欠かせません。そのため、この施策は新宿区総合計画の基本施策「 - 1 - 文化・歴史の掘り起こし、継承・発展・発信」、「 - 1 - 区民による新しい文化の創造」、「 - 1 - 文化芸術創造の基盤の充実」及び「 - 3 - 新しい文化と観光・産業の創造・連携・発信」に引き継いで取り組んでいきます。また、各基本施策を実施する中では、より効果的な情報発信を行っていきます。

**施策を構成する計画事業**

	総合評価	頁		総合評価	頁
文化体験プログラム事業の展開	B	118	夏目漱石生誕140年記念事業	B	124
文化・観光施策の推進	B	120	新宿文化センターの整備	B	126
文化・芸術活動への区民参加の促進	B	122			